

研究計画名 局所進行直腸癌に対する再発危険因子に応じた至適治療を検討する多施設共同研究

消化管外科ホームページ掲載内容

<http://gisurg.kuhp.kyoto-u.ac.jp/>

『局所進行直腸癌に対する再発危険因子に応じた至適治療を検討する多施設共同研究』

2005 年から 2017 年までに京大病院、京都医療センター、天理よろづ相談所病院で直腸癌にて直腸切除術を受けた患者さんについて、直腸癌の局所再発危険因子に応じた至適治療法を同定することを目的に、臨床病理学的データ（患者背景、手術所見、病理所見、予後）を、カルテより情報を取り出し調査します。カルテを用いて転移や予後との関連を調査します。すでにある情報を集計する研究なので、この研究に参加することにより、新たに検査や治療が増える、費用が掛かるということはありません。データの集計にあたっては匿名化の後にいき、患者さんの個人情報と公開することはありません。また個人を特定できる情報を施設外に提供することはありません。研究対象とならないことを希望する際には当教室に連絡すれば、情報の削除が可能です。本研究は京都大学医の倫理審査委員会にて審査を受け、病院長の許可を受けて行っています。研究計画書、及び研究の方法に関する資料を、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等で支障がない範囲内で閲覧することが可能です。この研究の主研究機関は京都大学消化管外科です。問い合わせは京都大学消化管外科医局までお願いします。研究期間は倫理審査承認日から 2022 年 12 月までです。（研究担当：河田健二、山本健人）

研究責任者：坂井義治

問い合わせおよび相談窓口：京都大学消化管外科医局（075-751-3111）または京都大学医学部附属病院 相談支援センター（075-751-4748；E-mail: ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp）